

資本主義は一朝にして奇蹟的に倒るゝものに過ぎず。今日、資本主義の矛盾、羅悪が全民衆に乱舞せしむるに由らざる、何等根本的改善が行はれざるのみならず却てその搾取政策が徹徹なく遂行せられつゝある。而も共産主義及其他一派の労働組合が徒に焦燥、尖鋭化し、巧に於て急進化するも実力之に伴はず、資本主義の反動的攻勢に當てざるや、風に吹かるゝ穀殻の如くに飛散しつゝあるを見る。之れ故に健全なる労働組合主義を軽視し、深く労働者の実生活の中に、組合の誘惑能を築かざるに依るものである。

惟ふに、我國労働組合は、後進國の特殊事情に依り、著しく思想団体、政治団体的色彩を濃厚にしたるも、由來労働組合は、理論より生れず、又單なる政治的手段にも非ず、労働者の惨苦なる日常生活を改善向上せしめ、やがて之を解放に導かんとする自主的相互組織である。故に、労働組合はその日常協同の訓練に依り、労働者の識見、技術、徳性の向上を期す。教育的任務、強固なる團結の威力に依り資本主義の搾取に對する闘争的任務、相互保障制度に基く共済的任務等の諸機能と融合統一したる経済団体として、之を發達せしめねばならぬ。斯くして初めて労働組合は労働者の生活の中に基礎を有する大威塞たり得るのである。

我日本労働總同盟は、多年健全なる労働組合主義を主張し来つたが、

考へし  
ゆゑの必要あり

### 日本

今後はこれを一層具體化し更に徹底化する爲に、熱心なる努力を傾注し進んで日本労働運動を磐石の基礎の上に建設しなげねばならぬ。

現下、世界の大局を概観するに、國に依りて程度に濃淡あり、その過程に一進一退あるも、大局に立、我日本労働組合は、社会主義的統制、経済を中心とする新秩序に向つて進み、労働組合利益を重要なる地位と占めつゝある。

雖も今や、我國資本主義は唯一の救命策として、インフレーション政策を強行し、物價騰貴は阻止し難き大勢となつた。かくて労働階級は更に搾取を強化せられ、労働組合運動の重要性は愈々加はりつゝある。我總同盟は日本労働運動の陣頭に立ち、之を指導し積極的に資本攻撃を撃破し、以て歴史的使命の遂行に邁進し全労働階級の信頼に應へんとするものである。

右宣言す

昭和七年十一月五日

日本労働總同盟

第二十二回大會